

国土交通省都市交通検討会 拠点エリアWG

ウォークアブルと パブリックライフを 再考する

吉江俊
東京大学
大学院都市工学研究科





吉江 俊

よしえ・しゅん

- 東京大学都市工学科 講師。博士（工学）。
- 専門は都市論・都市デザイン。
- 都市計画のまえに「そもそもを考える」調査・研究活動（=都市論）に特色がある。
- 近年は、民間企業による都市開発の可能性について研究中。

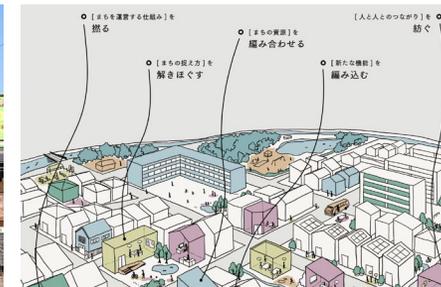
1 <自治体>との共働によるまちづくり 団体自治と並走する <住民自治>のためのプランづくり

宮城県加美町 佐賀県多久市など



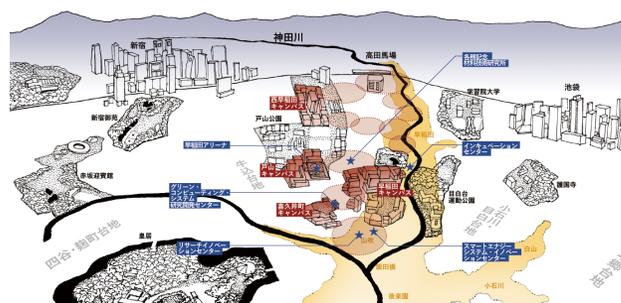
2 <民間企業>との共働による都市再生 民間企業が都市の公共性を担う <迂回する経済>の実践

ポラスグループ UR、JR東日本など



3 <大学>という立場からの実践 研究の知をキャンパスへ、そして社会へ展開する

早大キャンパスマスタープラン 東京都現代美術館「吉阪隆正展」



「ウォーカブル推進都市」の普及。ここから先は？

令和7年12月末時点で、都市再生特別措置法に基づく滞在快適性等向上区域を設定した市区町村（既に都市再生整備計画の期間が終了した市区町村を含む）：

- 2019（令和元）年に「ウォーカブルな人中心の空間」への転換による「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現が提言
- 401都市がウォーカブル推進都市に賛同、132市区町村がウォーカブル区域（滞在快適性等向上区域）を設定（2026.1.31時点）
- まちなかウォーカブル推進事業の実施は年々増加、年100件ペースに

北海道	秋田市	境町	和光市	千代田区	神奈川県	大野市	掛川市	伊勢市	貝塚市	上牧町	山口市	柳川市	津久見市
札幌市	横手市	栃木県	久喜市	中央区	神奈川県	鯖江市	藤枝市	松阪市	枚方市	王寺町	防府市	春日市	竹田市
函館市	湯沢市	宇都宮市	北本市	港区	横浜市	あわら市	袋井市	桑名市	茨木市	和歌山県	長門市	大野城市	豊後高田市
旭川市	鹿角市	足利市	三郷市	新港区	川崎市	越前市	下田市	鈴鹿市	八尾市	和歌山市	周南市	古賀市	杵築市
室蘭市	由利本荘市	栃木市	蓮田市	台東区	相模原市	山梨県	湖西市	名張市	富田林市	鳥取県	徳島県	うきは市	宇佐市
釧路市	山形県	小山市	坂戸市	墨田区	鎌倉市	甲府市	伊豆の国市	亀山市	河内長野市	鳥取市	徳島市	糸島市	豊後大野市
千歳市	山形市	那須塩原市	幸手市	品川区	藤沢市	長野県	愛知県	熊野市	羽曳野市	米子市	徳島市	川崎町	由布市
恵庭市	山形市	下野市	鶴ヶ島市	目黒区	小田原市	長野市	愛知県	朝日町	門真市	倉吉市	阿南市	佐賀県	国東市
北広島市	福島県	上三川町	日高市	大田区	逗子市	長野市	名古屋市	明和町	高石市	境港市	美波町	佐賀市	日出町
黒松内町	福島県	群馬県	ふじみ野市	大田区	三浦市	松本市	豊橋市	滋賀県	東大阪市	島根県	香川県	佐賀市	玖珠町
栗山町	福島市	前橋市	白岡市	世田谷区	厚木市	上田市	岡崎市	大津市	大阪狭山市	松江市	高松市	佐賀市	宮崎県
沼田町	会津若松市	館林市	美里町	渋谷区	大和市	岡谷市	一宮市	彦根市	阪南市	大田市	丸亀市	武雄市	宮崎県
東神楽町	郡山市	埼玉県	上里町	杉並区	新潟県	諏訪市	瀬戸市	長浜市	熊取町	江津市	坂出市	基山町	宮崎県
上土幌町	白河市	埼玉県	宮代町	豊島区	新潟市	小諸市	春日井市	草津市	津和野町	津野町	善通寺市	上峰町	宮崎県
青森県	須賀川市	さいたま市	杉戸町	北区	長岡市	茅野市	豊川市	守山市	神戶市	岡山市	観音寺市	長崎市	小都市
青森市	棚倉町	熊谷市	松伏町	荒川区	三条市	佐久市	津島市	東近江市	姫路市	岡山市	宇多津町	佐世保市	西都市
弘前市	茨城県	川口市	千葉県	板橋区	加茂市	岐阜市	刈谷市	愛荘町	尼崎市	倉敷市	多度津町	熊本市	三股町
八戸市	水戸市	行田市	千葉県	練馬区	見附市	岐阜市	豊田市	京都市	西宮市	高梁市	愛媛県	熊本市	綾町
黒石市	日立市	秩父市	千葉県	足立区	上越市	大垣市	安城市	京都市	芦屋市	松山市	松山市	熊本市	高鍋町
五所川原市	土浦市	所沢市	木更津市	八王子市	南魚沼市	高山市	蒲都市	京都市	伊丹市	今治市	今治市	荒尾市	川南町
十和田市	石岡市	飯能市	松戸市	武蔵野市	富山県	関市	美濃加茂市	長岡京市	加古川市	大洲市	大洲市	菊池市	都農町
むつ市	下妻市	本庄市	野田市	三鷹市	富山市	美濃加茂市	各務原市	八幡市	西脇市	内子町	内子町	南関町	高千穂町
岩手県	笠間市	東松山市	習志野市	府中市	高岡市	各務原市	静岡県	南丹市	西脇市	熊本市	熊本市	益城町	鹿兒島県
盛岡市	取手市	春日部市	柏市	調布市	石川県	静岡県	静岡市	久御山町	新温泉町	熊本市	熊本市	あさぎり町	鹿兒島市
花巻市	つくば市	深谷市	市原市	町田市	金沢市	静岡市	浜松市	大府市	奈良県	高知市	高知市	大分県	指宿市
北上市	ひたちなか市	上尾市	流山市	東村山市	小松市	沼津市	熱海市	知多市	奈良市	南国市	南国市	大分市	薩摩川内市
宮城県	常陸大宮市	草加市	八千代市	国分寺市	加賀市	熱海市	三島市	知立市	大和郡山市	福岡県	福岡市	大分市	霧島市
仙台市	那珂市	蕨市	酒々井町	福生市	能美市	熱海市	島田市	尾張旭市	桜井市	福岡市	福岡市	別府市	南さつま市
石巻市	神栖市	戸田市	白子町	狛江市	野々市市	三島市	富士市	三重県	生駒市	福岡市	福岡市	中津市	始良市
塩竈市	小美玉市	入間市	長柄町	多摩市	福井県	富山市	津市	三重県	宇陀市	福岡市	福岡市	日田市	中種子町
柴田町	茨城町	朝霞市	東京都	稲城市	福井市	焼津市	四日市市	高槻市	田原本町	山口県	山口県	飯塚市	沖繩県
秋田県	大洗町	志木市	東京都		敦賀市					宇部市	田川市	白杵市	うるま市

出典：国土交通省 WALKABLE PORTAL
（ウォーカブルポータルサイト）

今回の論点

- 「ウォーカーブル」というテーマは十分普及し、施策も全国に展開しつつある
- これからは「流行」を超えて都市の資産を残していくフェーズへ
- そのためには、手法の追求だけでなく、そもそもの理念に立ち返る必要がある
- ウォーカーブルの論点は、少なくとも近代都市計画の萌芽期から議論されてきた。歴史をさかのぼって考えることも有効だ

I パブリックライフ／パブリックスペースとは

- 1 公共空間とパブリックスペース／ノリの地図
- 2 パブリックスペースが「パブリック」であるのはなぜか

II ウォーカーブルな空間に向けて：長い時間射程で考える

- 1 近代都市計画の黎明 石川栄耀のターミナル・ヴィスタ
- 2 都市デザインの黎明 吉阪隆正／杜の都 仙台のすがた

1 パブリックライフ／パブリックスペースとは

1 公共空間とパブリックスペース／ ノリの地図

2 パブリックスペースが 「パブリック」であるのはなぜか

公共空間／パブリックスペース／パブリックレルム

公共空間

個人に属さない公（おおやけ）の空間。都市計画の文脈では、民間の空間と対置され、公共（行政）が管理する街路や公園などを指すことが慣例である。

パブリックスペース（public space）

行政が管理する公共空間に加えて、民間が所有する公開空地などを含む、**公共的空間**のこと。ただし、その含意は「道路・公園・河川・公開空地・広場・空地・駐車場」の範囲にとどまる（『パブリックスペース活用辞典』学芸出版社、2023）。

パブリックレルム（public realm）

建物の所有・関係にかかわらず広く不特定多数の人々が無料で利用し、認知する空間領域の全体。**公共的領域**。



高輪ゲートウェイシティでは、「都市づくりの中心」にパブリックレルムというキーワードを据えている（2021年のインタビュー／<https://www.takanawagateway-city.com/story/detail/?page=822>） 写真は発表者

(図: ウィキメディアコモンズ [https://commons.wikimedia.org/wiki/Nuova_Topografia_di_Roma_di_Giovanni_Battista_Nolli_\(1748\)](https://commons.wikimedia.org/wiki/Nuova_Topografia_di_Roma_di_Giovanni_Battista_Nolli_(1748)))

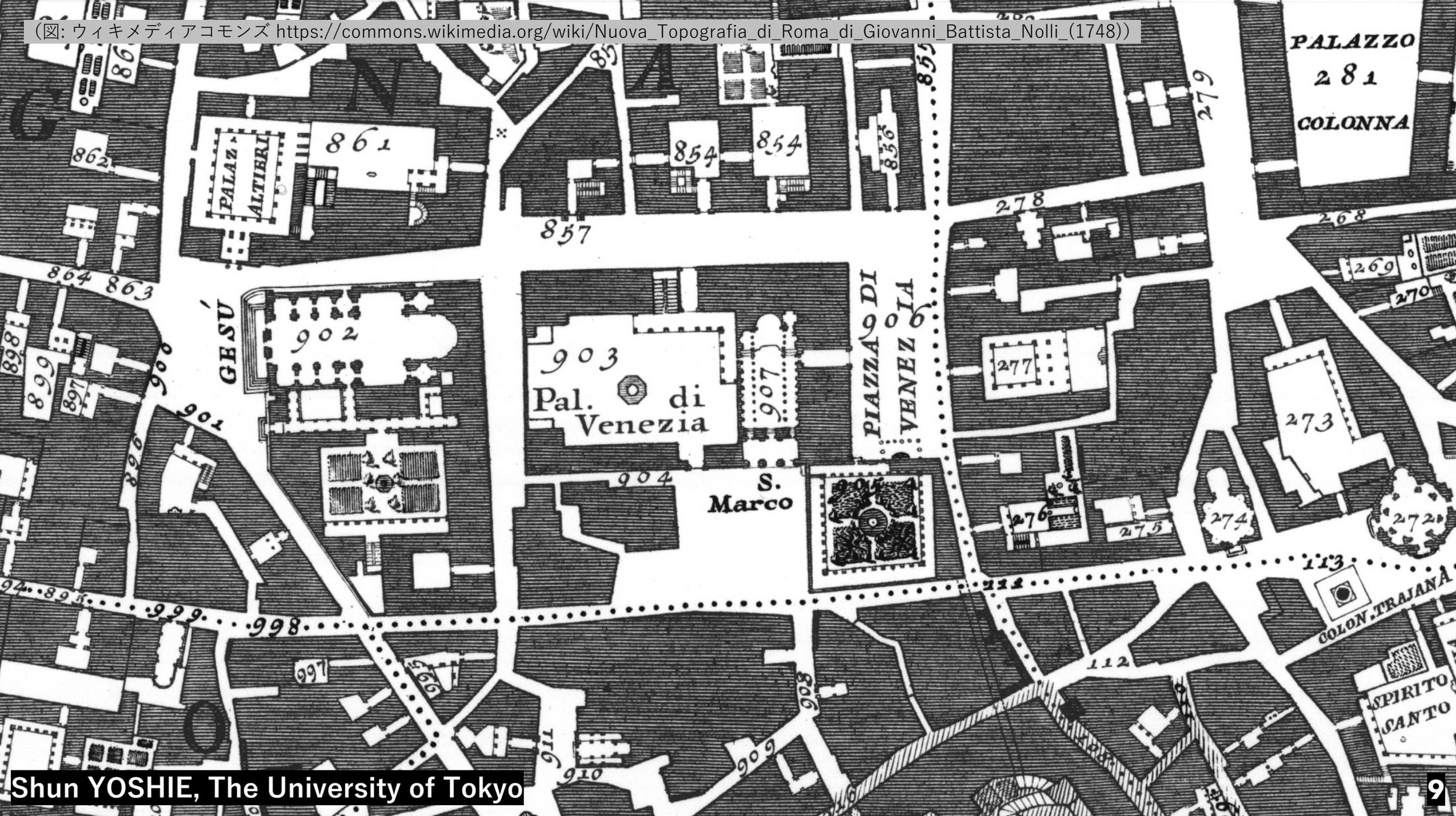
単体の計画から パブリックスペースの織物へ



Giovanni Battista Nolli, Nuova Pianta di Roma (1748)

18世紀イタリアの建築家によるバロック期のローマ

Shun YOSHIE, The University of Tokyo



1 パブリックライフ／パブリックスペースとは

- 1 公共空間とパブリックスペース／ノリの地図
- 2 パブリックスペースが「パブリック」であるのはなぜか

パブリックスペースの本質： ハンナ・アレントの「誰」と「何」

ハンナ・アレントはユダヤ人として収容された経験をもち、アメリカに亡命。終戦後はなぜ「人類にたいする犯罪」が起きたかを考察し『人間の条件』を著す

「誰 (who)」と「何 (what)」の区別

「誰」として扱われるとき、その人は多様でそれぞれが唯一無二の人間として接せられる

「何」として扱われるとき、その人は「会社員」や「父親」などの属性のひとりであり代替可能な部品である

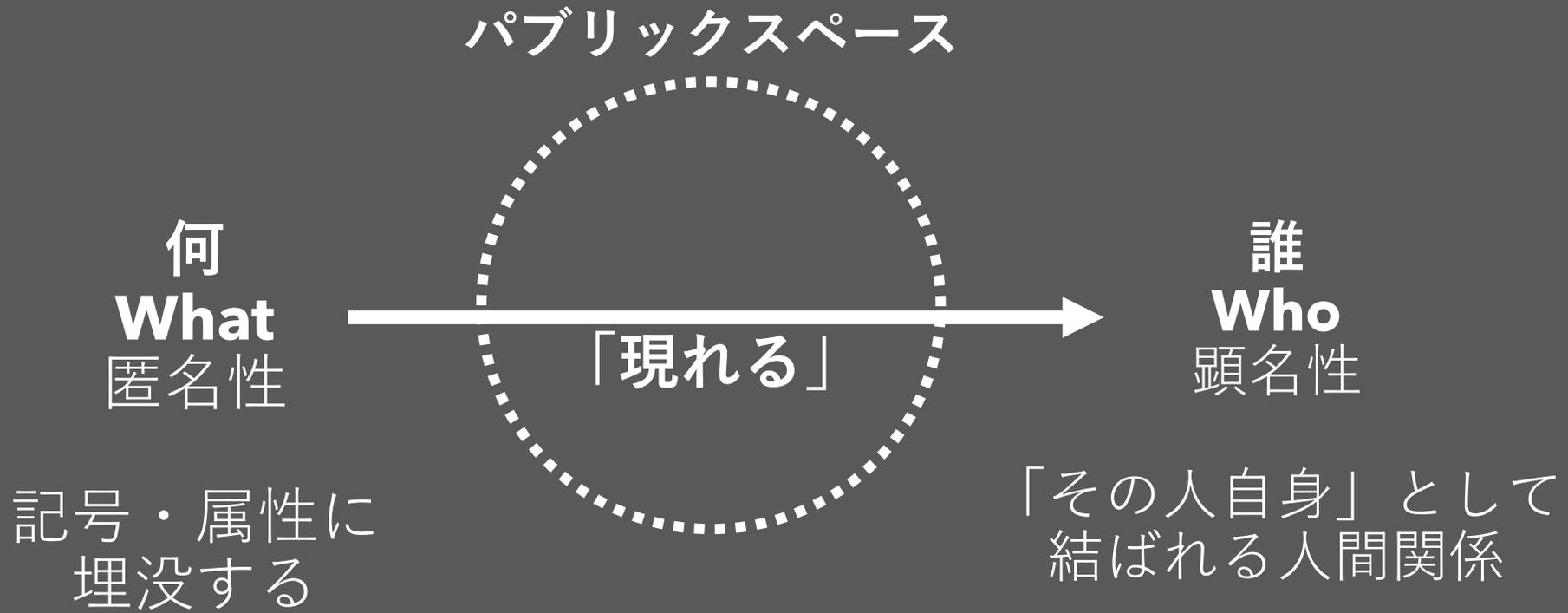
人を「何」＝交換可能な記号として扱うことがホロコーストの大量殺戮を可能とした

人が「誰であるか」は、他者に見られ聴かれることで現れる
これが公共空間の役割である



ハンナ・アレント
Hannah Arendt 1917-1980

写真：
<https://www.britannica.com/biography/Hannah-Arendt>



ヒューマニスティック

「人間主義の都市」を再生するために

Public Space

パブリック・スペース

人びとが自由にアクセスできる空間であり、匿名的な「何」としてふるまう人びとが、ふいに「誰」に変わり、人と人との顕名の関係が構築されうる空間のこと

Public Life

パブリック・ライフ

人びとを「誰」として目撃することにより、多様な人びとが同じ社会を生きているという共通の土台（**共在感覚**）を実感できる生活のこと

パブリックスペースは
多様な人がともに暮らしていることを
風景を通して私たちに伝える

それは社会形成にとって
最も基礎的な価値のひとつである
オーストラリア、シドニー

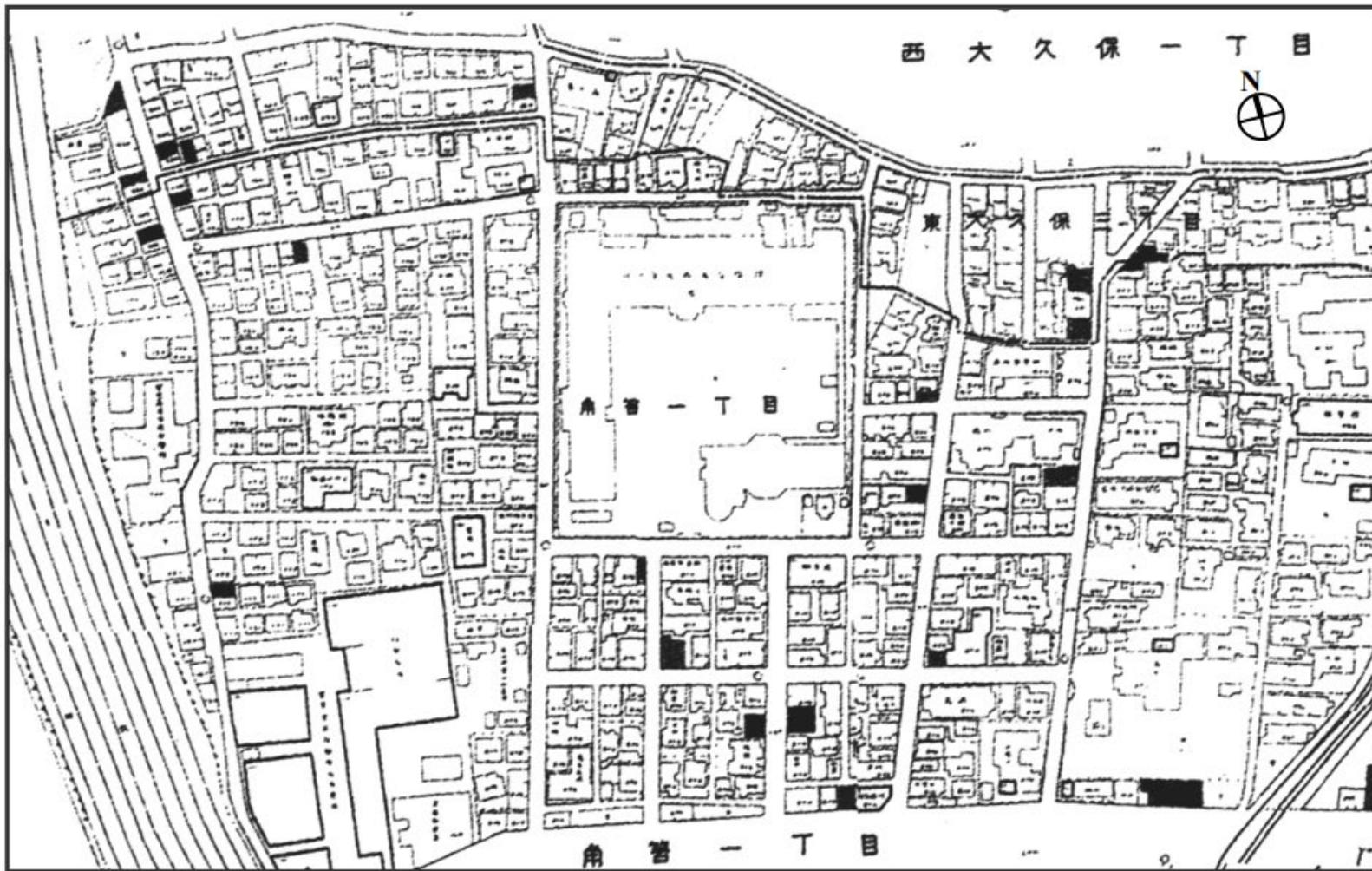
II ウォーカブルな空間に向けて：長い時間射程で考える

- 1 近代都市計画の黎明
石川栄耀のターミナル・ヴィスタ
- 2 都市デザインの黎明
吉阪隆正／杜の都 仙台のすがた

歌舞伎町の建設

1935～37年頃 区画整理前

出典：西成典久, 斎藤潮「石川栄耀の広場設計思想」
都市計画論文集 39.3、2004年



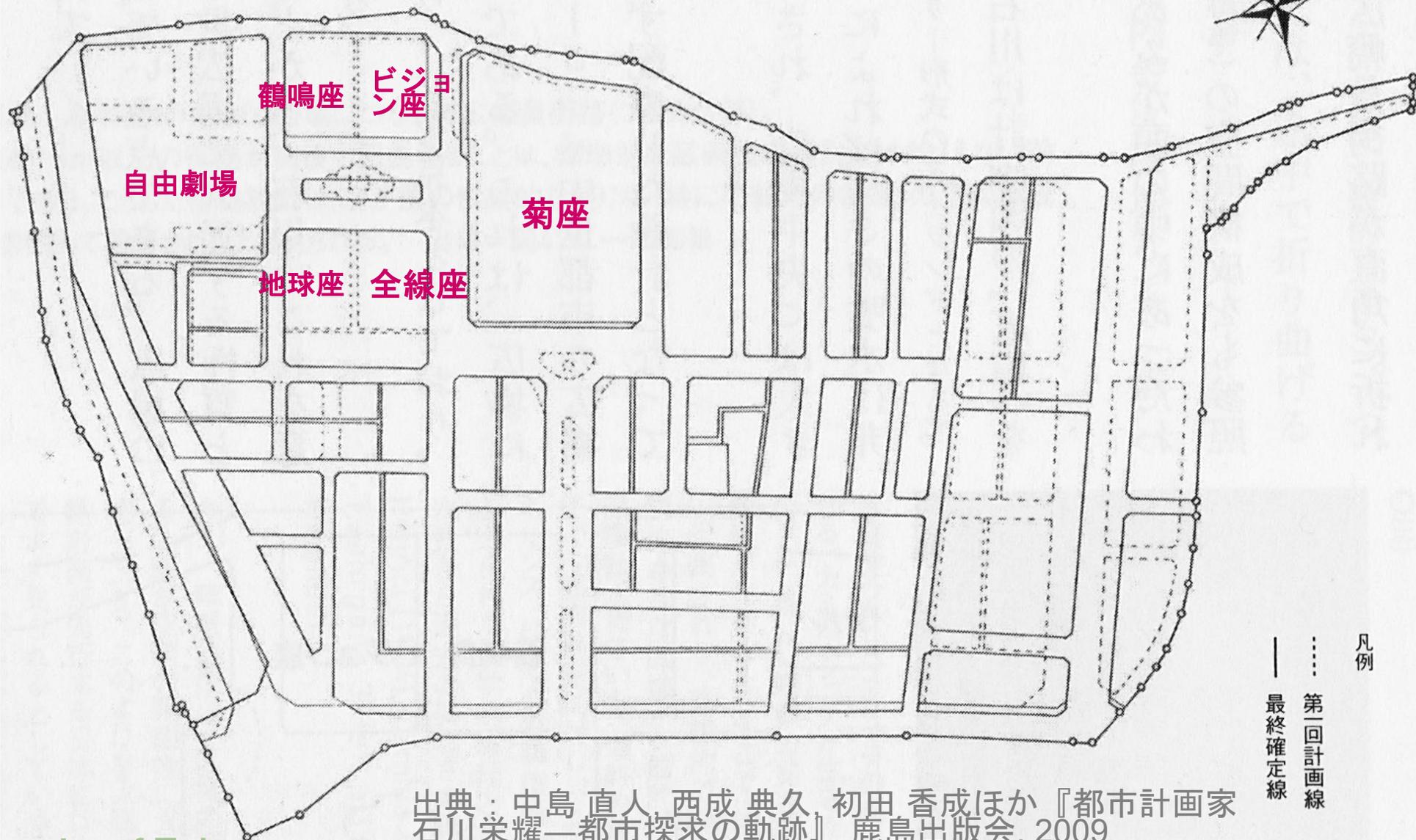
歌舞伎町の建設

計画変更図

歌舞伎町広場の周りを歌舞伎座を囲う。石川は「市民生活が民主的に社会的に高揚される媒体」として**広場**が必要であることを、インカ帝国の首都クスコやマチュピチュの観察を通して考えていた。

石川は、日本には広場がなく「都市をつくる社会感覚が欠けているのではないか」という問題意識をもち、西欧広場が担ってきた**共同体の中心**や**市民同士の交歓の場**として**商店街**に注目してきた。

そして今回、歌舞伎町では「**日本唯一の広場**」をつくらうと考えたのだった。



出典：中島直人、西成典久、初田香成ほか『都市計画家 石川栄耀—都市探求の軌跡』鹿島出版会、2009

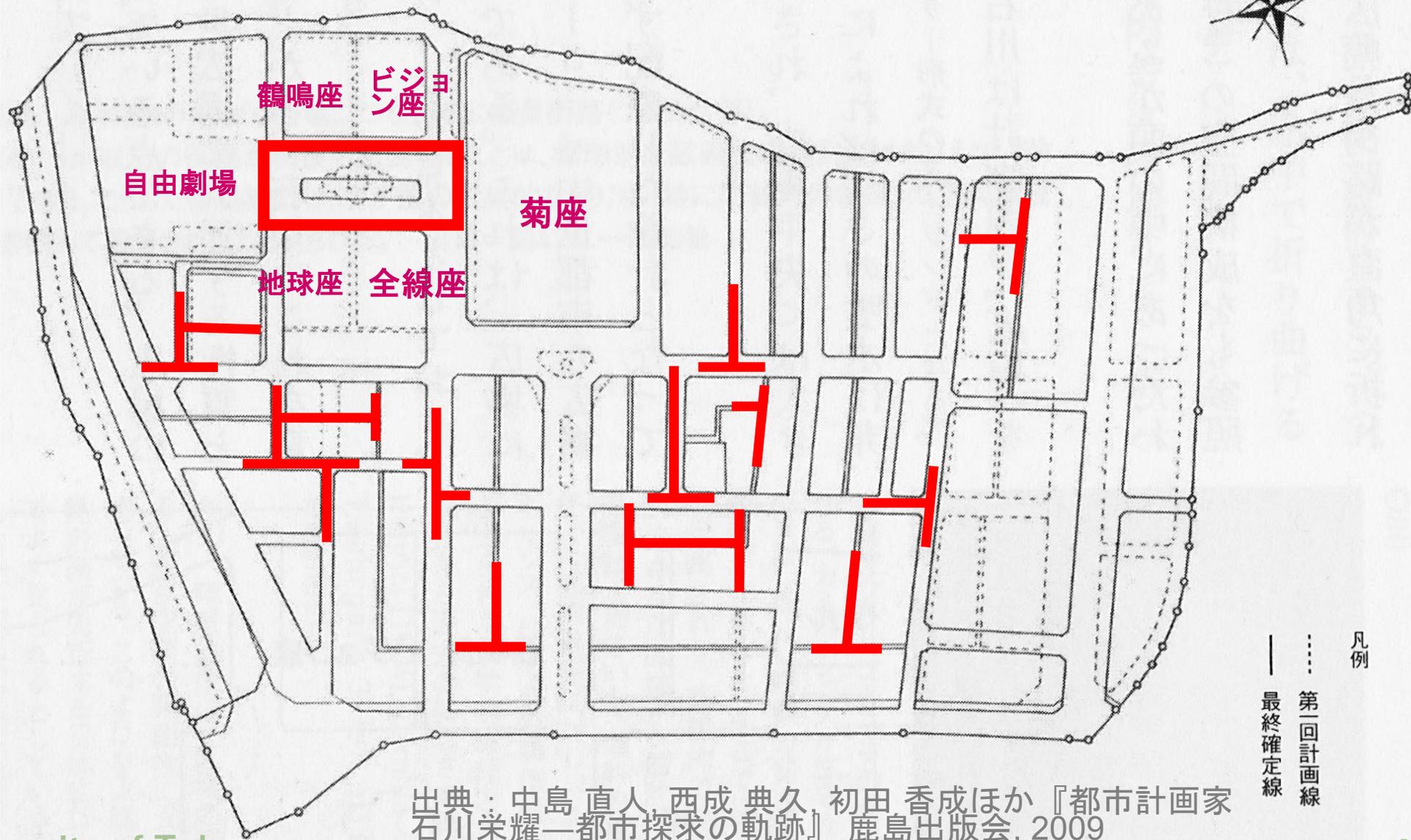
歌舞伎町の建設

計画変更図

歌舞伎町広場の周りを歌舞伎座を囲う。石川は「市民生活が民主的に社会的に高揚される媒体」として**広場**が必要であることを、インカ帝国の首都クスコやマチュピチュの観察を通して考えていた。

石川は、日本には広場がなく「都市をつくる社会感覚が欠けているのではないか」という問題意識をもち、西欧広場が担ってきた**共同体の中心**や**市民同士の交歓の場**として**商店街**に注目してきた。

そして今回、歌舞伎町では「**日本唯一の広場**」をつくらうと考えたのだった。



出典：中島直人、西成典久、初田香成ほか『都市計画家石川栄耀—都市探求の軌跡』鹿島出版会、2009

ふと、インカ帝国の首都Cuzcoの記事と写真を見出した。
そこで驚いたのは、この余りにも有名な世界に絶縁し、独自の文明を
以って発展していたという国の首都に、広場があったという事である。

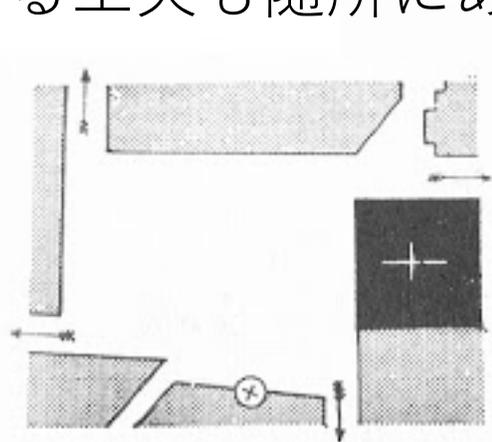
（中略）我々は都市計画史において、都市生活が高度な段階に入り、
市民生活が民主的に社会的に高揚されてきた時、
必ずその媒体として広場を見る事になっている。
いわば広場は、その都市の文化度の表象のようなものになっている事を
知っている。

友愛のあるところに広場あり、広場は民主社会のレッテルであるように
思える。日本にそれがないことは淋しすぎる。何となく日本人の性格の
中に民主主義が無いことを意味するように思えるからである。

——石川栄耀「余談亭らくがき」都市美技術家協会, 1956, p.30、

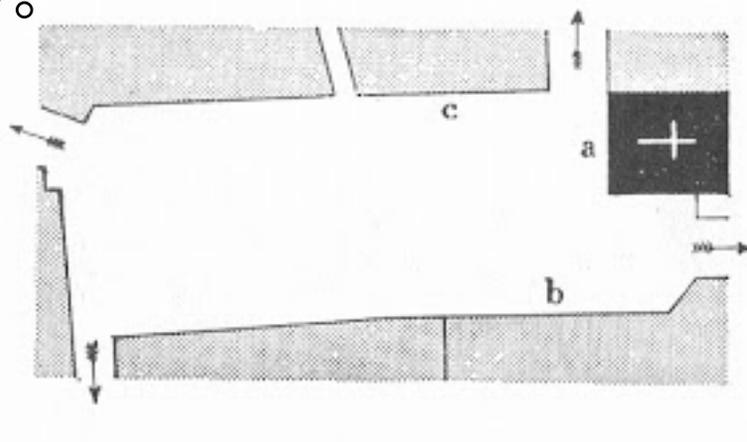
歌舞伎町広場の思想

石川はレイモンド・アンウィンの計画を見本として、広場の設計では「Terminal Vista」と呼ぶ技法を採用した。これは、**広場につながる道路を貫通させず、広場からの視野を封じる手法**で、ヨーロッパ中世都市の広場に共通する特徴であった（カミロ・ジッテ『広場の造形』に詳しい）。このほかに、街路の多くを**T字路**として視界を閉じ込める工夫も随所にある。



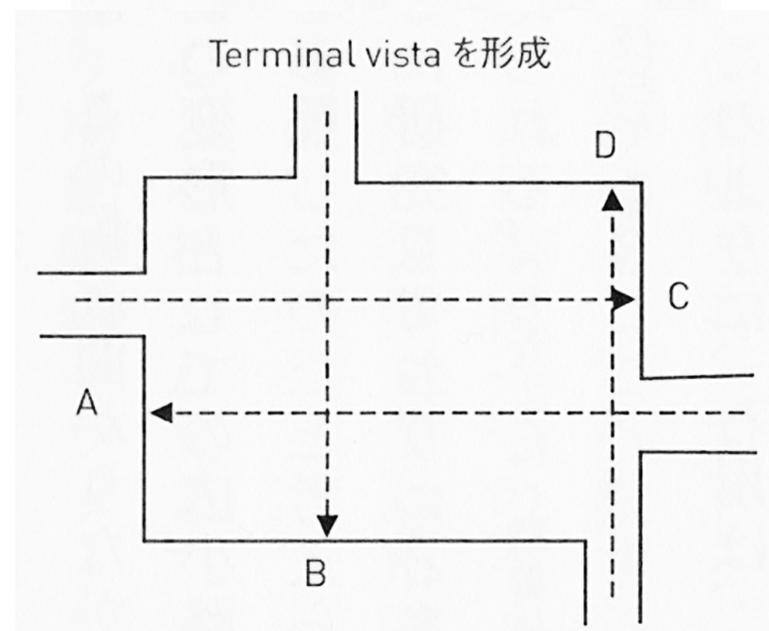
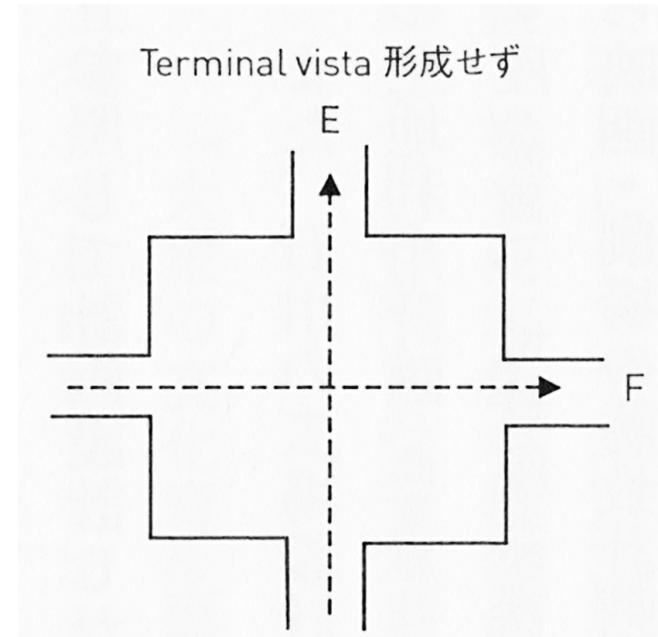
第22図

ラヴェンナの大聖堂広場



第23図 マントヴァのサン・ピエトロ教会広場

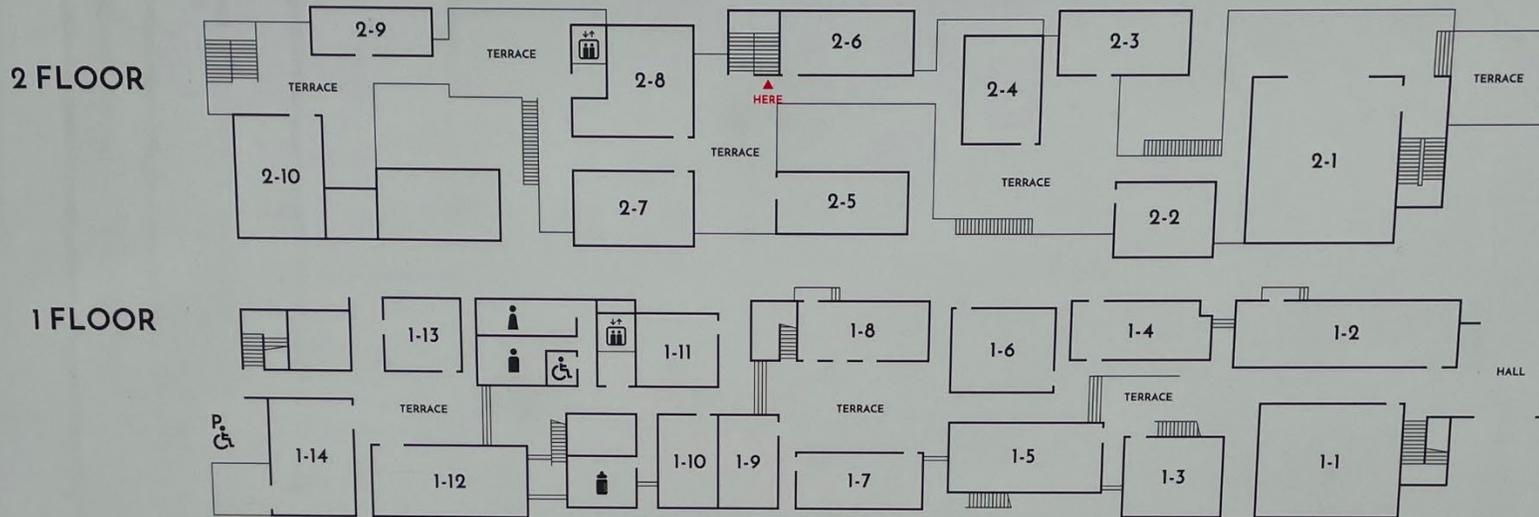
a. サン・ピエトロ教会 b. 王宮 c. 司教館







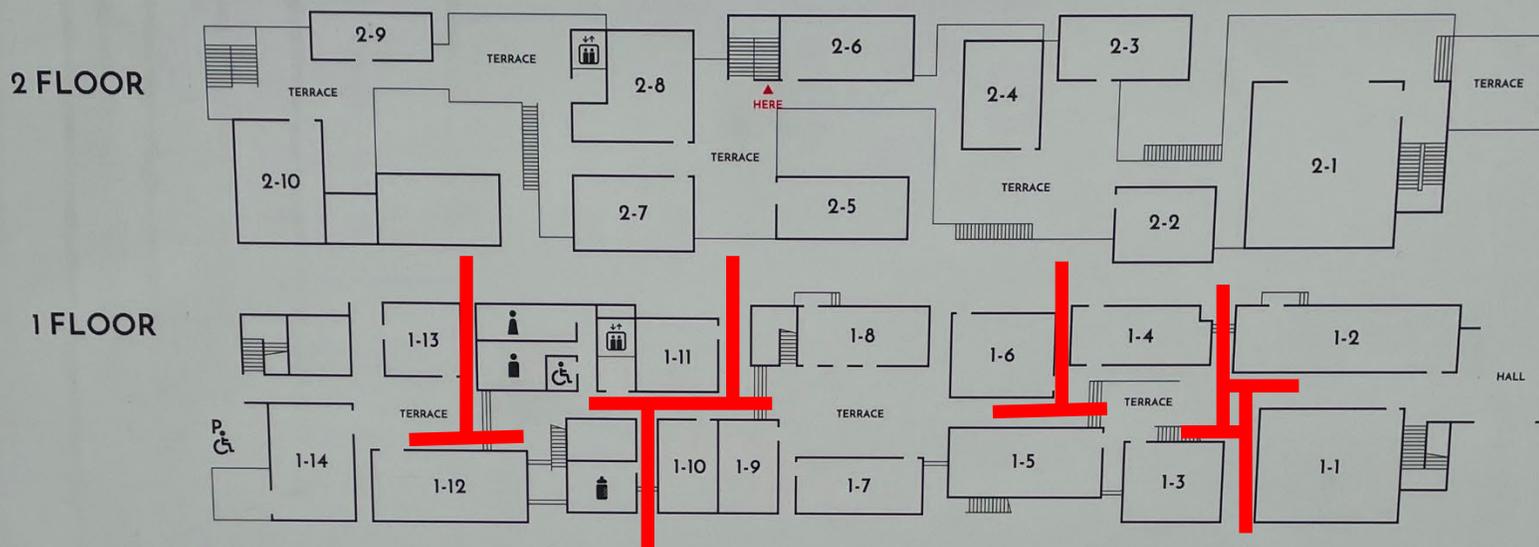
FLOOR GUIDE



1-1	OGAWA COFFEE LABORATORY	COFFEE BEANS STORE	1-13	Però	WINE SHOP / WINE STAND
1-2	IGNITE yoga studio s	YOGA STUDIO	1-14	明天好好 (ミンテンハオハオ)	NEW FAR EASTERN STYLE VEGAN CAFE
1-3	MASUNAGA1905	EYE WEAR SHOP	2-1		
1-4	TAKESHI'S BARBER	BARBER	2-2	CYAN -vintage&used-	CLOTHES SHOP
1-5	APFR TOKYO	FRAGRANCE SHOP	2-3	Shisha Cafe "chotto"	SHISHA
1-6	はしり	SUSHI & WINE	2-4	FORESTIÈRE	VINTAGE & SELECT
1-7	SANZOU TOKYO	CURRY / GALLERY	2-5	FLUX CONDITIONINGS	BODY MAINTENANCE STUDIO
1-8	Cotopaxi Tokyo	OUTDOOR GOODS	2-6	DESK LABO	STATIONARY SHOP
1-9	Megan	PÂTISSERIE	2-7	FLUX CAFE	WELLNESS CAFE
1-10	flo.dance	FLOWER SHOP	2-8	STABLER ShimokitazawaMeatsand 2nd	CAFE / RESTAURANT
1-11	しもきた茶苑大山	TEA / SHAVED ICE	2-9	立てば天国	STANDING IZAKAYA
1-12	セカイクラス	VINTAGE / IMPORT HOME CENTER	2-10	Universal Bakes Nicome	VEGAN BAKERY

- MEN'S RESTROOM
男性用トイレ
- LADIES' RESTROOM
女性用トイレ
- ACCESSIBLE RESTROOM
多目的トイレ
- NURSING ROOM
授乳室
- ELEVATOR
エレベーター
- DISABLED PARKING PERMIT
障害者専用駐車場

FLOOR GUIDE



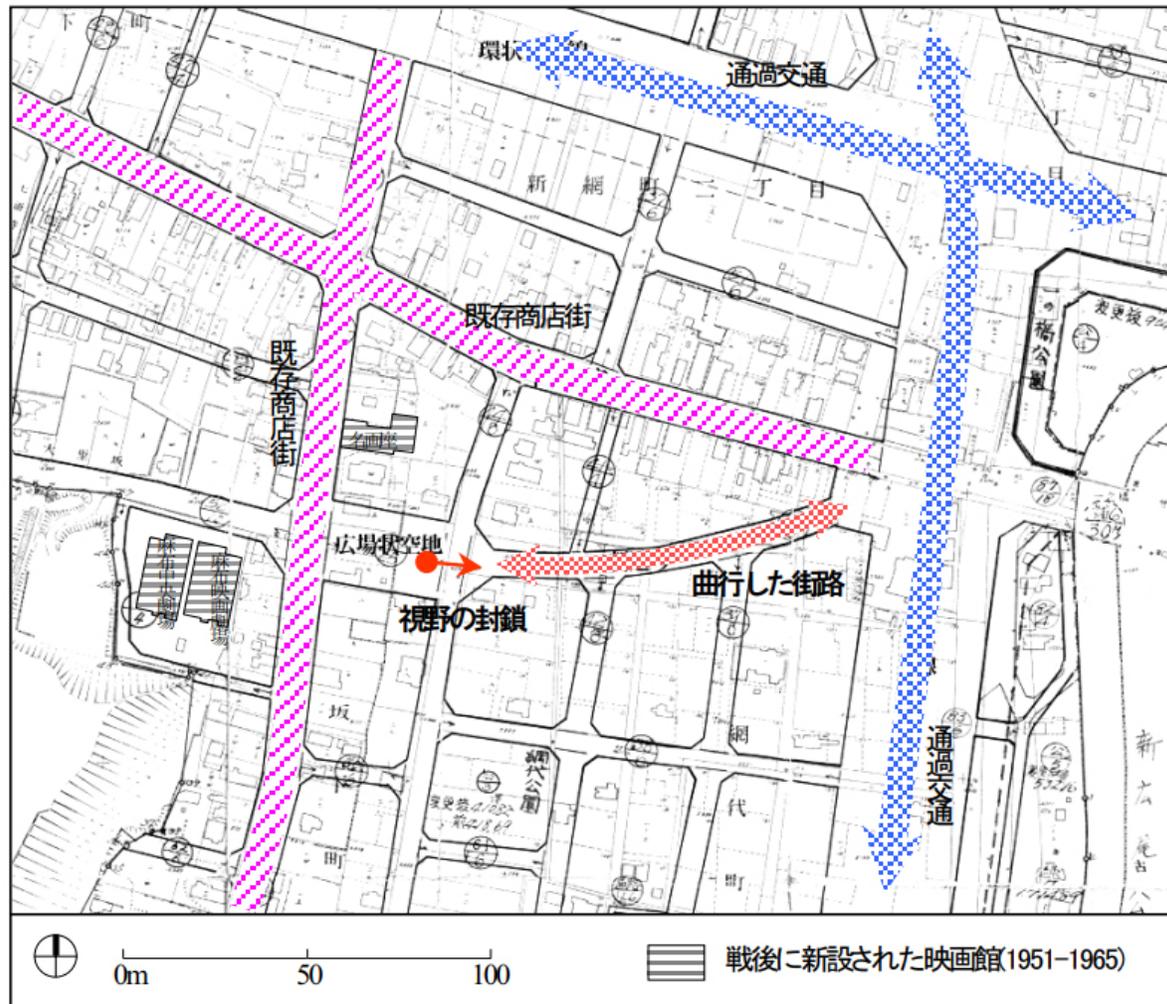
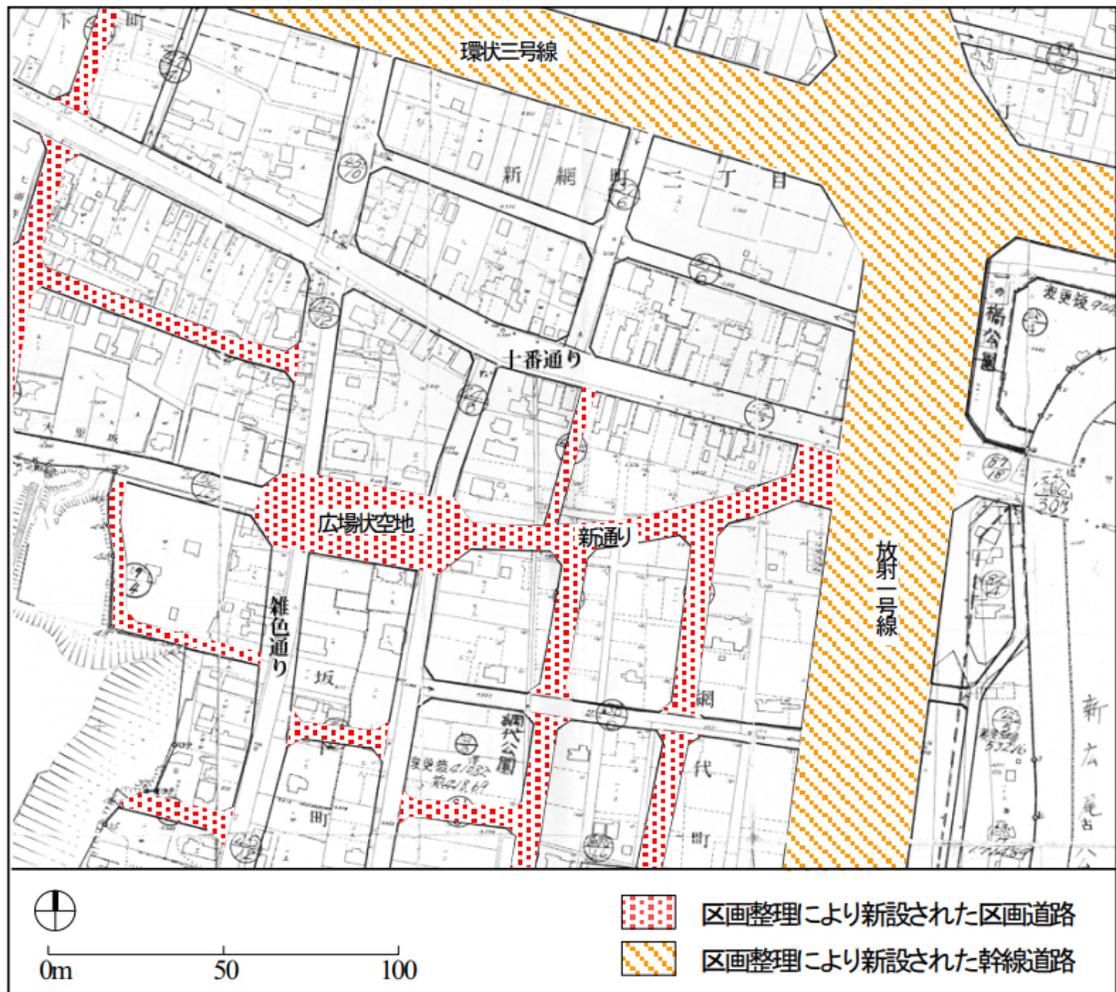
1-1	OGAWA COFFEE LABORATORY	COFFEE BEANS STORE	1-13	Però	WINE SHOP / WINE STAND
1-2	IGNITE yoga studio s	YOGA STUDIO	1-14	明天好好 (ミンテンハオハオ)	NEW FAR EASTERN STYLE VEGAN CAFE
1-3	MASUNAGA1905	EYE WEAR SHOP	2-1		
1-4	TAKESHI'S BARBER	BARBER	2-2	CYAN -vintage&used-	CLOTHES SHOP
1-5	APFR TOKYO	FRAGRANCE SHOP	2-3	Shisha Cafe "chotto"	SHISHA
1-6	はしり	SUSHI & WINE	2-4	FORESTIÈRE	VINTAGE & SELECT
1-7	SANZOU TOKYO	CURRY / GALLERY	2-5	FLUX CONDITIONINGS	BODY MAINTENANCE STUDIO
1-8	Cotopaxi Tokyo	OUTDOOR GOODS	2-6	DESK LABO	STATIONARY SHOP
1-9	Megan	PÂTISSERIE	2-7	FLUX CAFE	WELLNESS CAFE
1-10	flo.dance	FLOWER SHOP	2-8	STABLER ShimokitazawaMeatsand 2nd	CAFE / RESTAURANT
1-11	しもきた茶苑大山	TEA / SHAVED ICE	2-9	立てば天国	STANDING IZAKAYA
1-12	セカイクラス	VINTAGE / IMPORT HOME CENTER	2-10	Universal Bakes Nicome	VEGAN BAKERY

- MEN'S RESTROOM
男性用トイレ
- LADIES' RESTROOM
女性用トイレ
- ACCESSIBLE RESTROOM
多目的トイレ
- NURSING ROOM
授乳室
- ELEVATOR
エレベーター
- DISABLED PARKING PERMIT
障害者専用駐車場

麻布十番の建設

1952年 区画整理後の麻布十番

出典：西成 典久「麻布十番戦災復興計画と石川栄耀の理想的商店街」都市計画論文集 41.3 (0)、2006年









II ウォーカブルな空間に向けて：長い時間射程で考える

1 近代都市計画の黎明

石川栄耀のターミナル・ヴィスタ

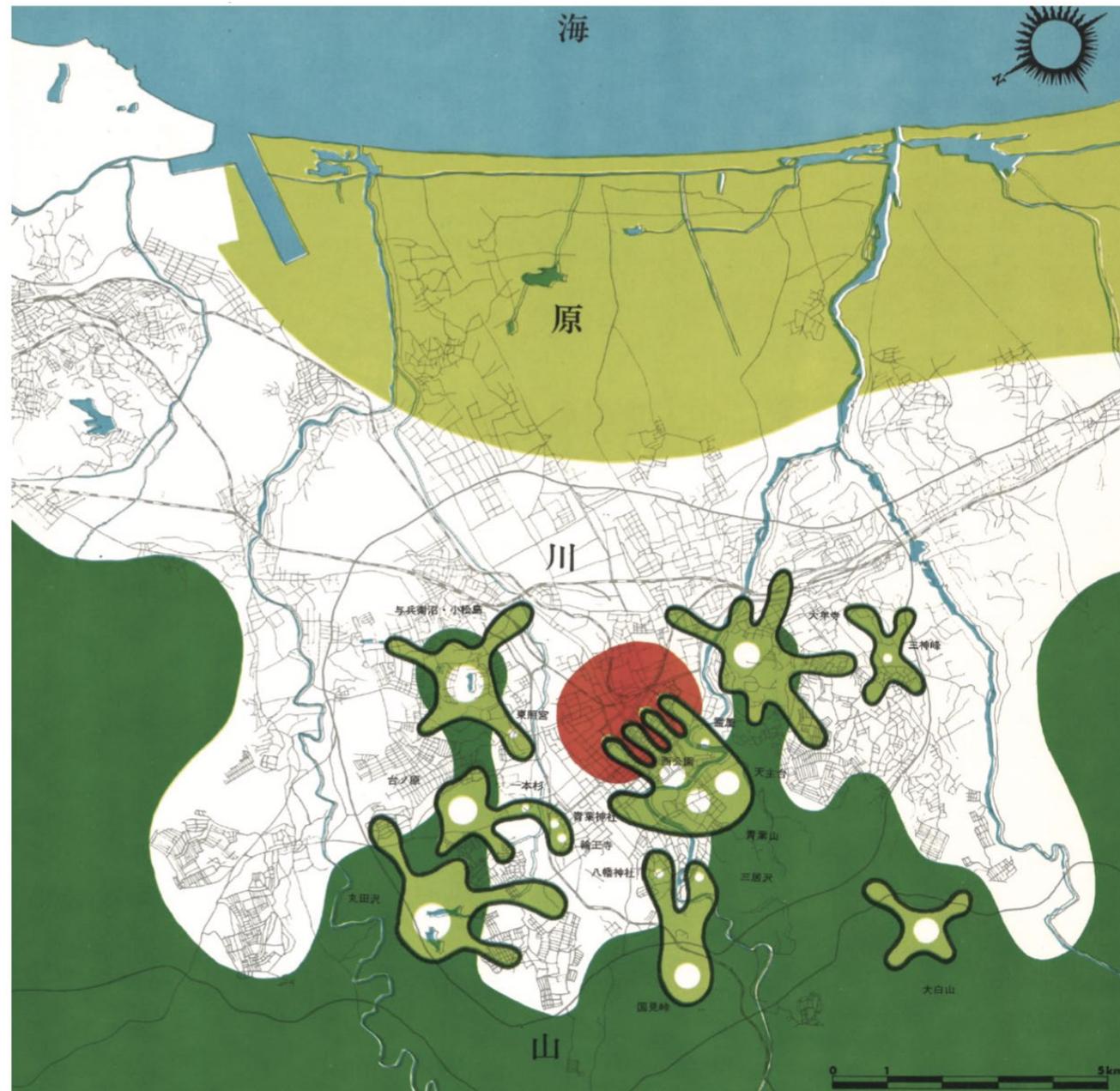
2 都市デザインの黎明

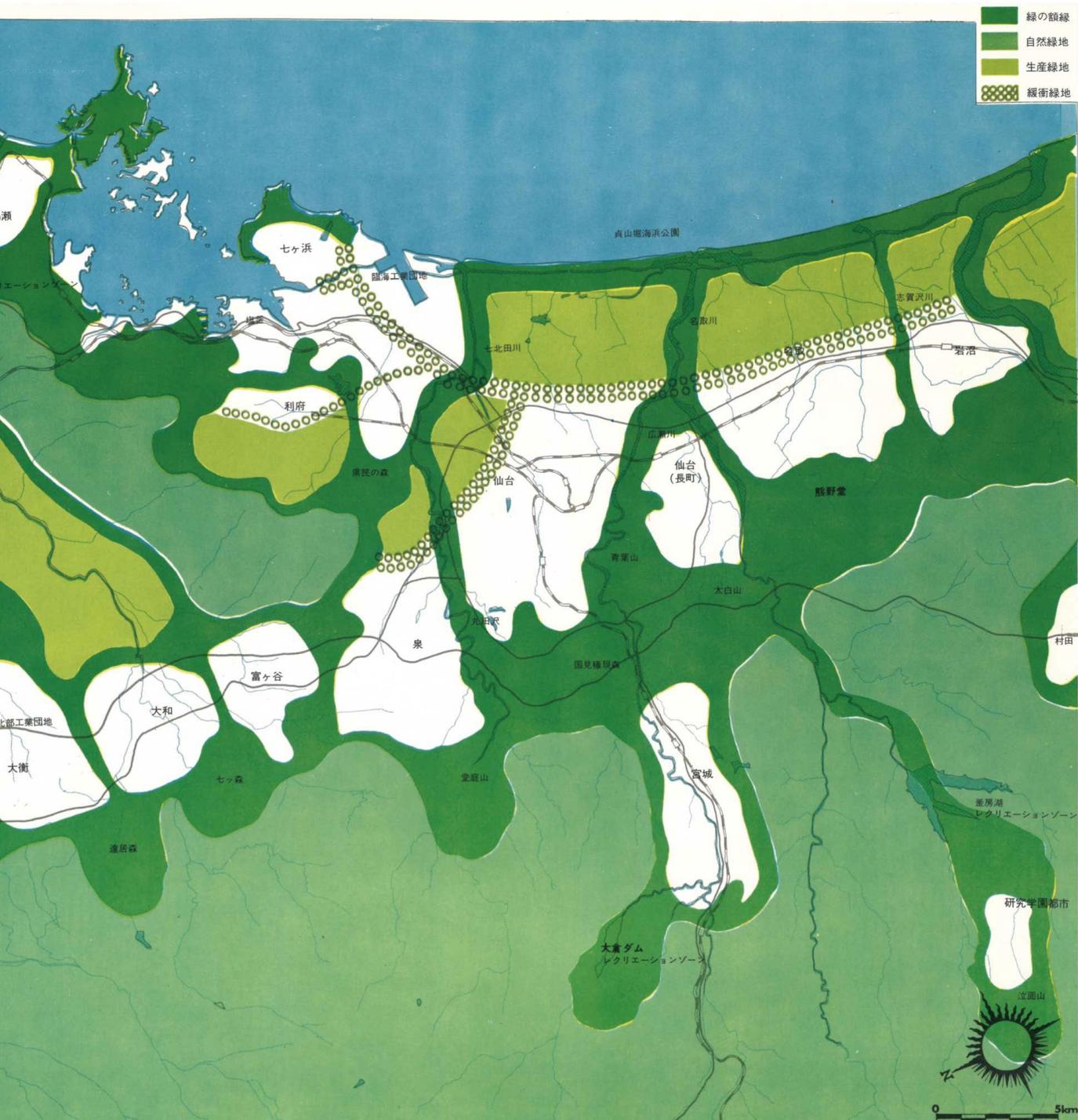
吉阪隆正／杜の都 仙台のすがた

仙台の計画

吉阪隆正は1965年に早稲田大学に都市計画専修コースを設立。建築設計から都市デザインへ舵を切る。60年代は、日本全国で都市計画（土木工学ではなく）の教育が始まった黎明期でもあった。

宮城県・仙台の計画（1973）は吉阪研究室の集大成のひとつで、都市計画学会・石川賞を受賞。新幹線駅が新設されることが決まっていた仙台市は、当時は人口30万人程度の人口集中地区をもつ都市で、大都市と小都市のちょうど間にある場所だった。吉阪は緻密な調査をベースに、仙台を「海 原 川 山」に分け、そこに「**緑の額縁**」と「**緑の手**」を計画して自然環境と共生する都市を描いた。



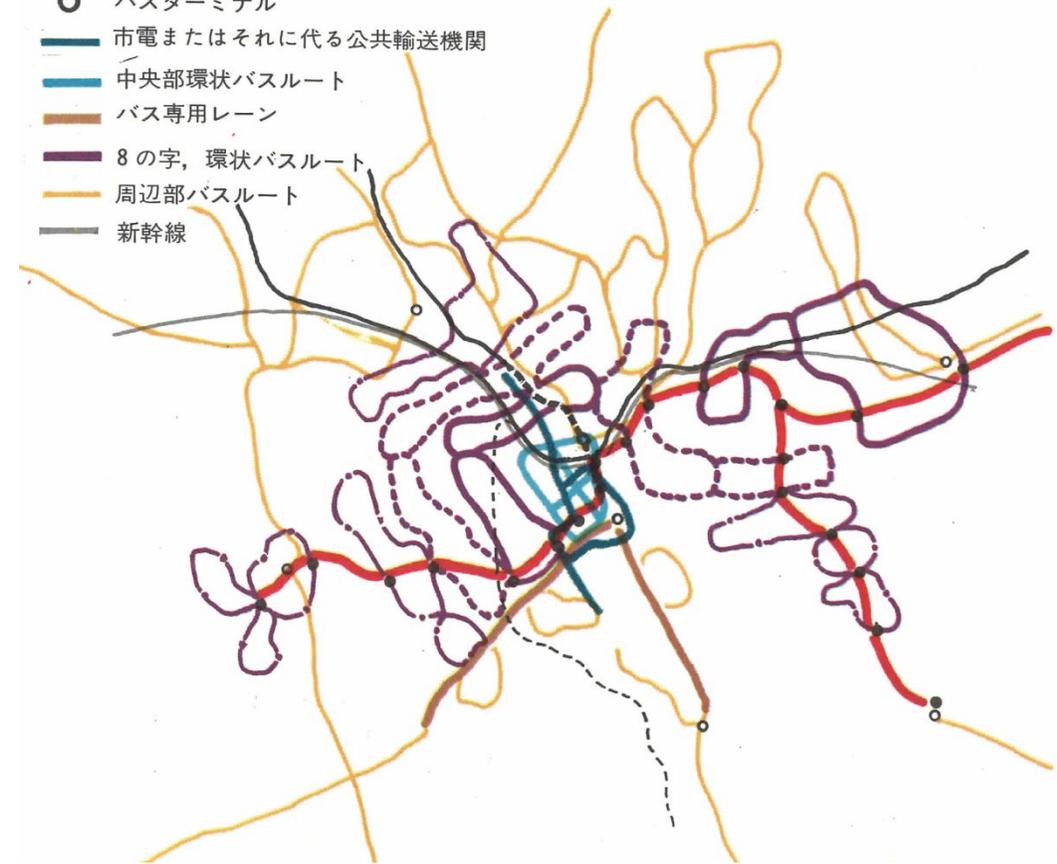


幹線道路はU字形 中心部は歩行者空間 バスは8の字ルートでカバー

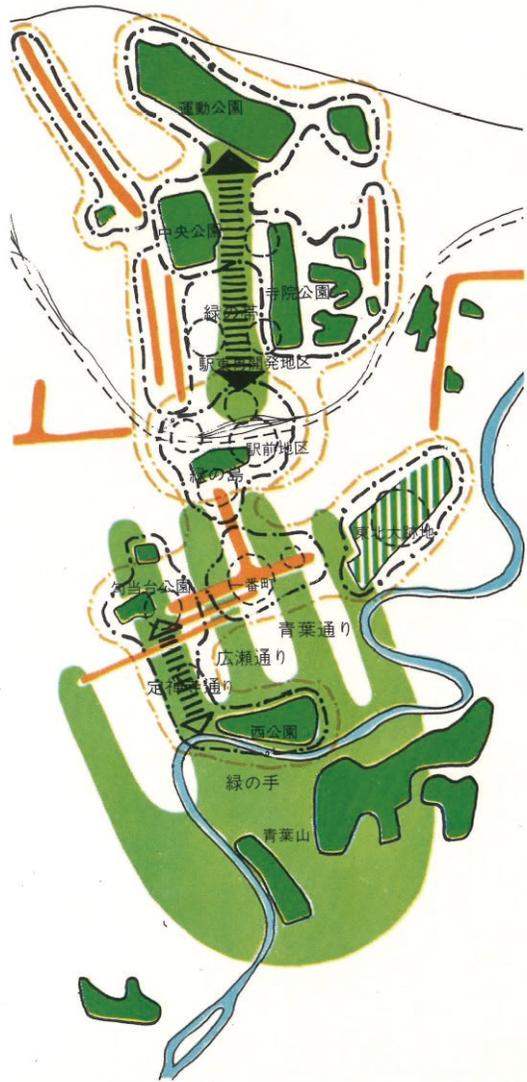
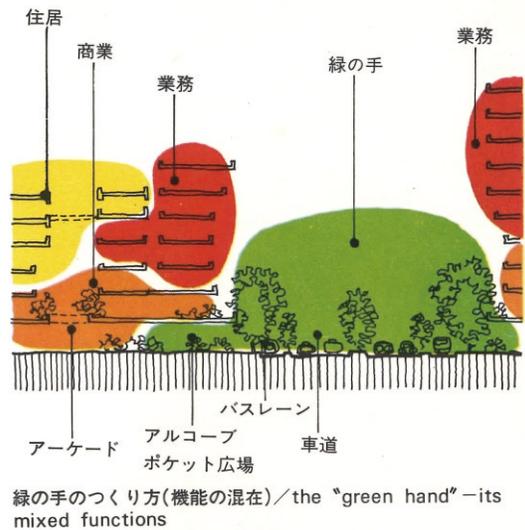


第3段階
 ●街路整備
 ①U字切り込み型パターン形成。
 ②周辺部地区幹線の整備。
 ●車交通の規制。
 ピンク・ブルー規制。
 ●物流配送センターを大環状周辺に分散配置し、都心部にもサブセンターを数カ所建設。

- 地下鉄南北線
- 既存鉄道
- 地下鉄駅
- バスターミナル
- 市電またはそれに代る公共輸送機関
- 中央部環状バスルート
- バス専用レーン
- 8の字、環状バスルート
- 周辺部バスルート
- 新幹線



西公園を起点に 四つの街路を 指に見立てた 「緑の手」



中心部整備模式 / diagram showing the consolidation of central district



中心整備の方向 / directives for equipping the civic centre

「開発拠点のつながりと緑の手」の計画 / development strategy and the links with "green hand"



県民の森緑地

常磐道緩衝緑地

七北田川緑地

霞の目

与兵衛沼緑地

総合グラウンド

市苗圃園

古尾自然公園

小松島緑地

東照宮緑地

中央公園

木下・白山公園

寺院公園

台原・榎田川緑地

三本松緑地

勾当台公園

丸田沢緑地

青葉神社緑地

愛后山

大生寺山緑地

名取川緑地

輪王寺・北山緑地

西公園

蘆屋・瑞鳳寺緑地

三神峰

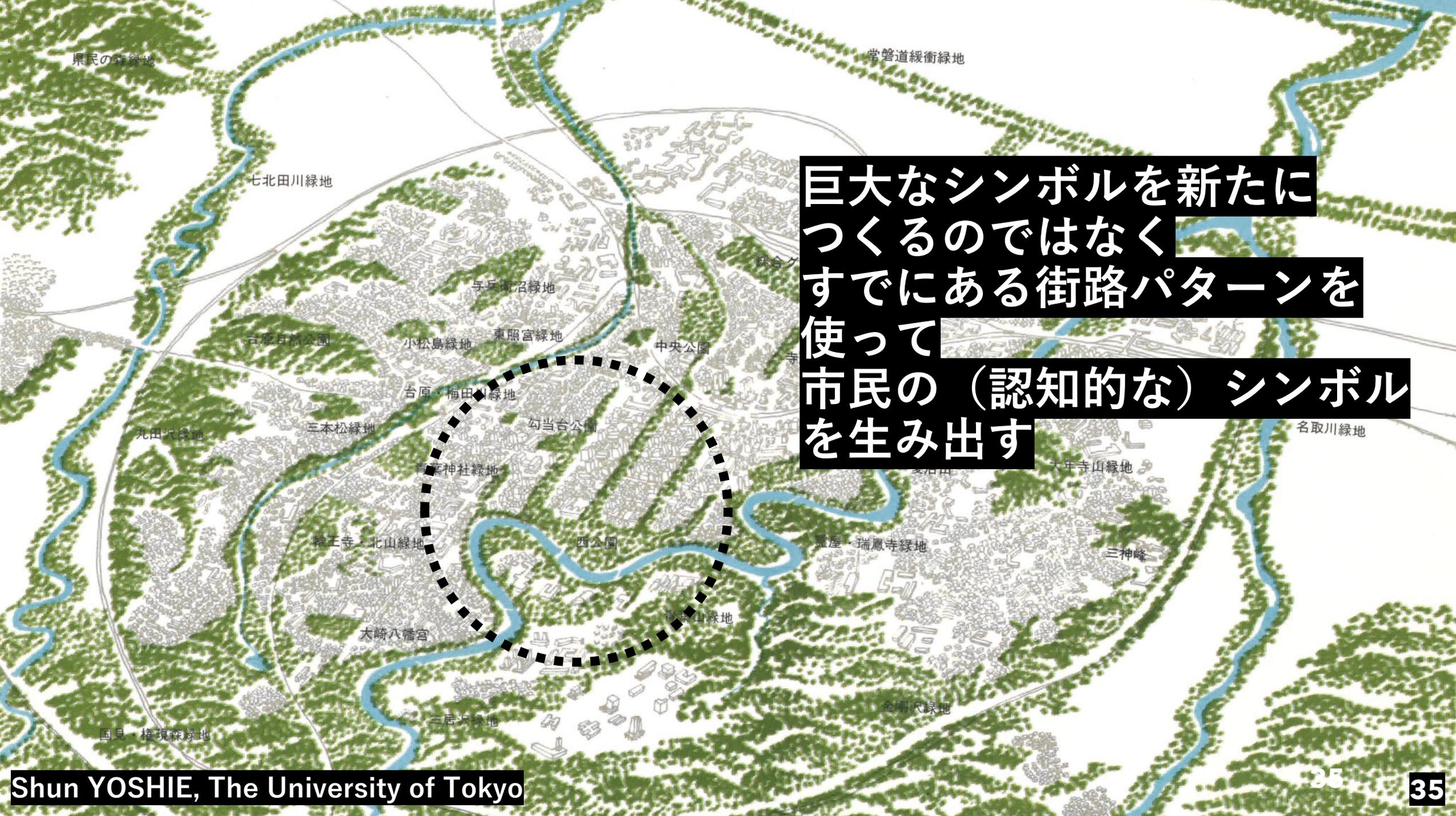
大崎八幡宮

青葉山緑地

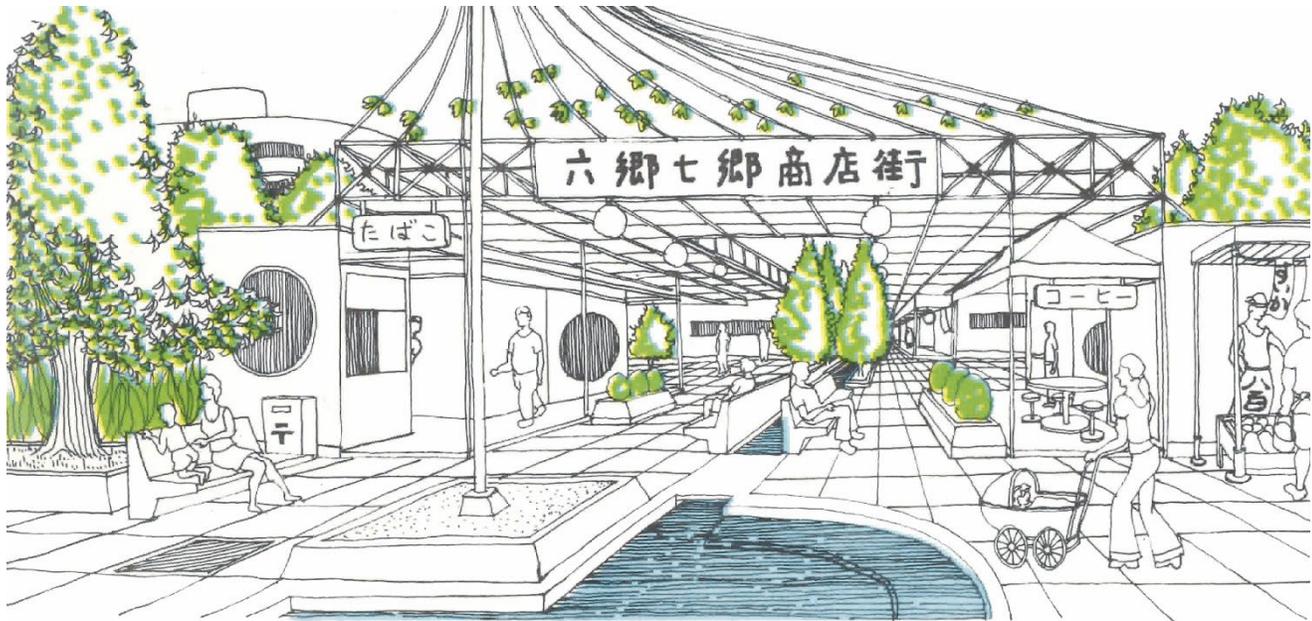
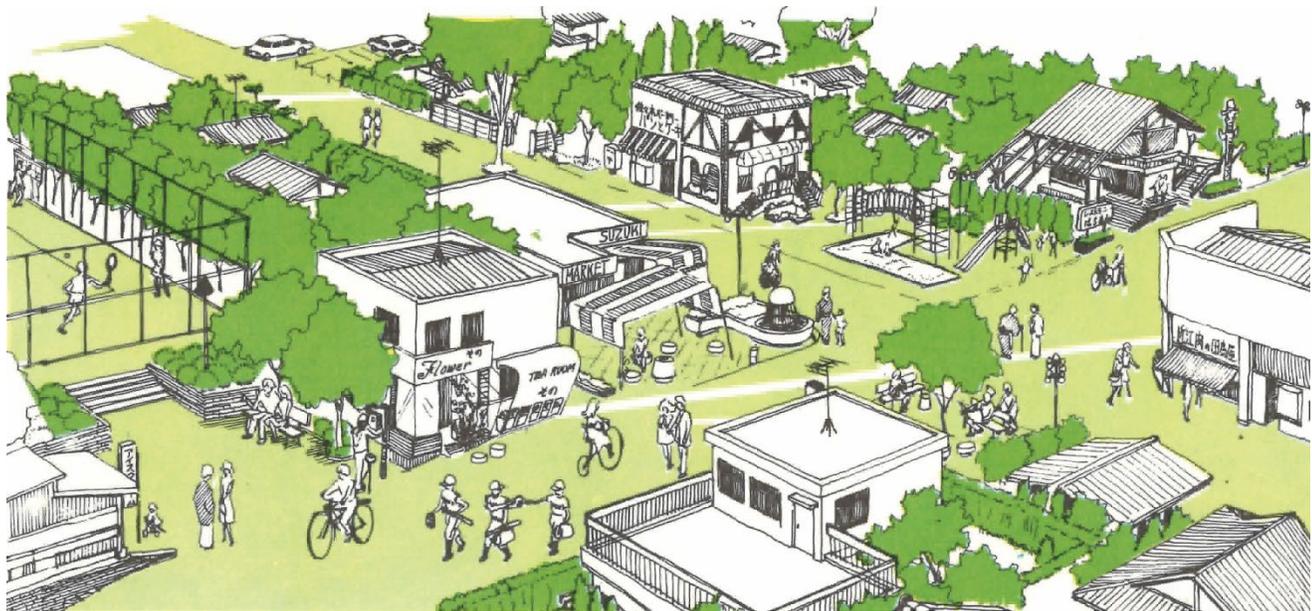
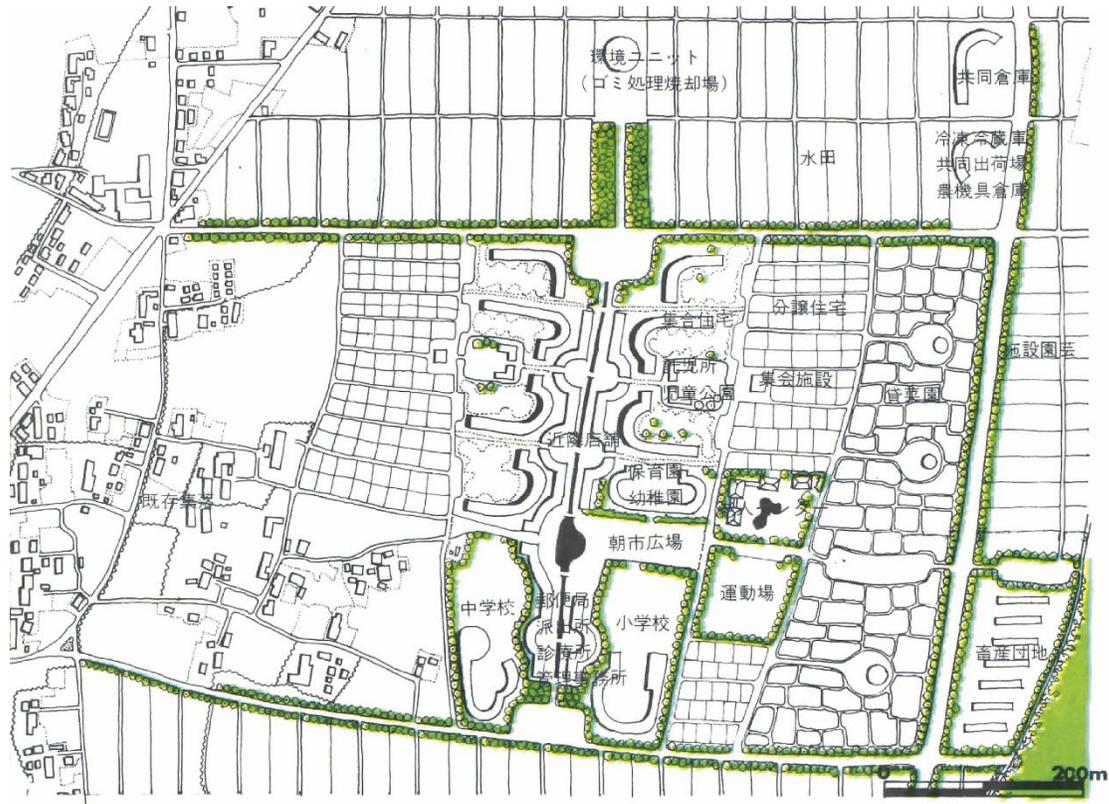
金剛沢緑地

国見・権現森緑地

三居沢緑地



巨大なシンボルを新たに
つくるのではなく
すでにある街路パターンを
使って
市民の（認知的な）シンボル
を生み出す



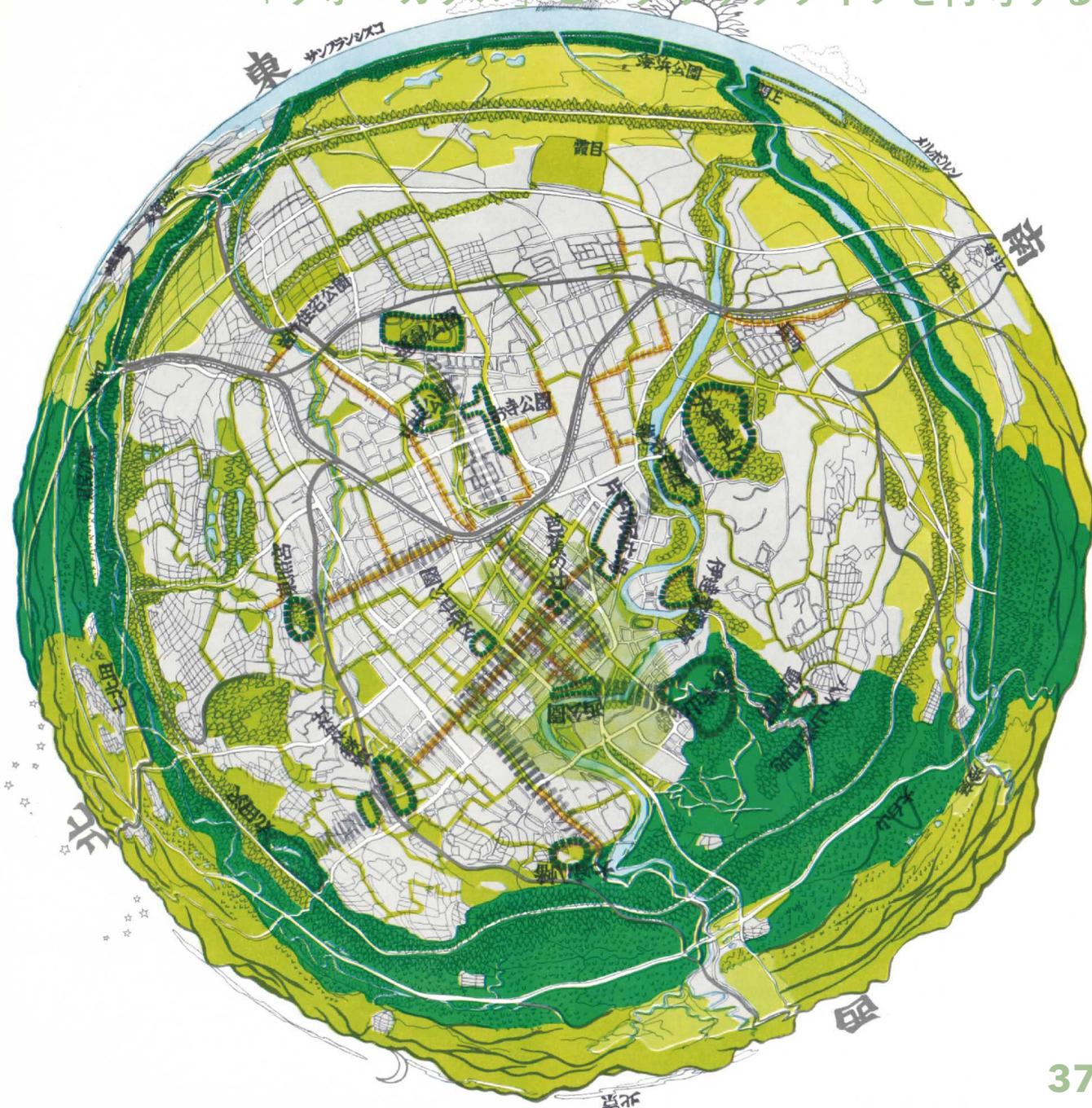
「魚眼図」的把握

マクروسケールの都市計画から、人間存在の次元までをいかにして横断するか。これが、都市デザインの基本的な問いかけである。

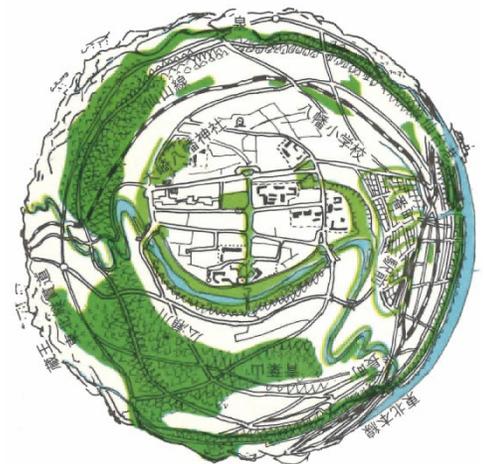
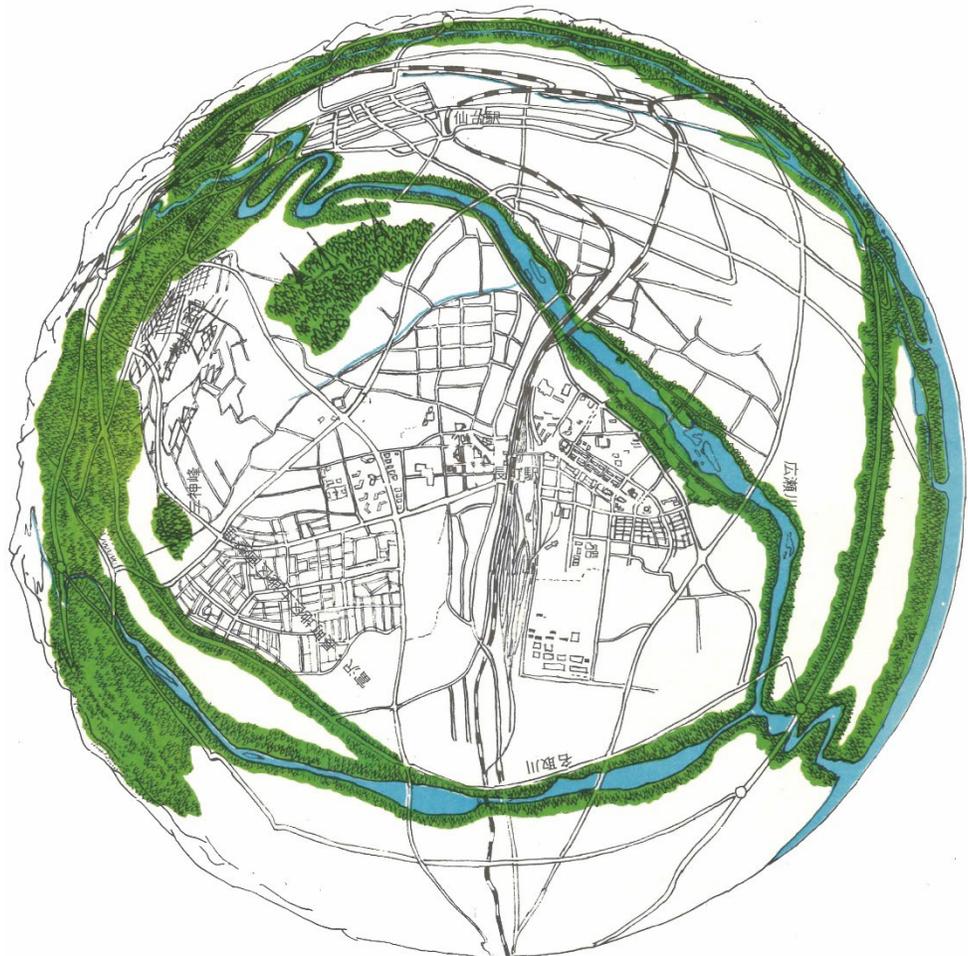
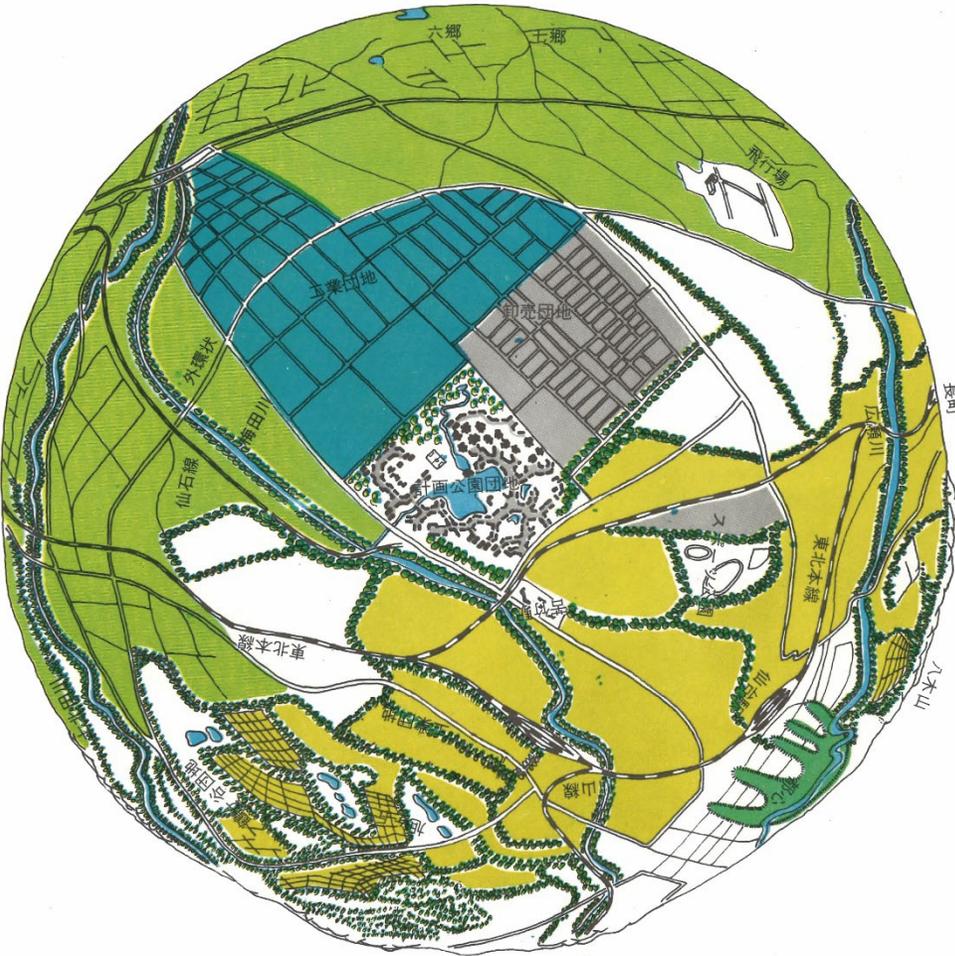
魚眼図は何度も描かれる。何度も中心を変えながら、その都度まちはどのように見えるのかを検討する。

「どんな辺境の地でも、住んでいる人にとってはそこが世界の中心である」

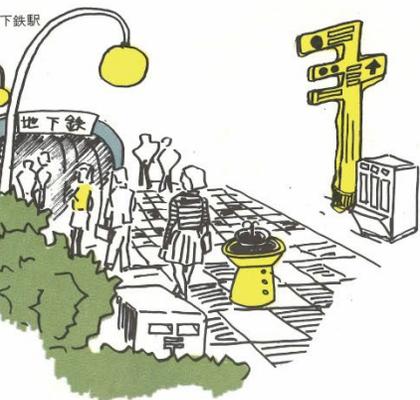
と吉阪はいう。近くのものほど鮮明に、遠くのものは曖昧に描かれる魚眼図は、「大なるものと小なるものを克服止揚する」、つまり「人間個人の存在と都市計画の間を考える」という吉阪のひとつの答えであった。



都市計画は、それが実現したときどう見えるのか？



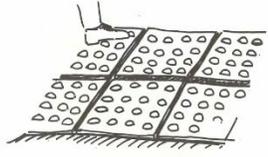
魚眼図は視点を變えて何度も描くのが肝心である



●街路のまわりに



個性あるペーパメント



盲人のために



手づくりのペ

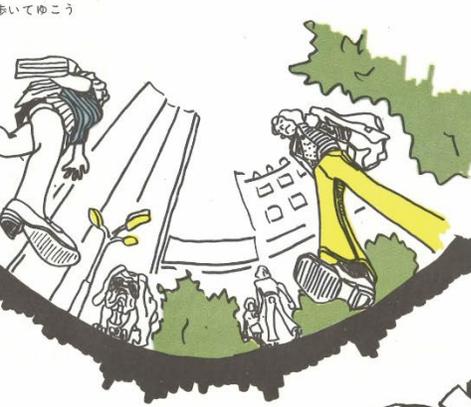
雑草が生え土がみえる歩道



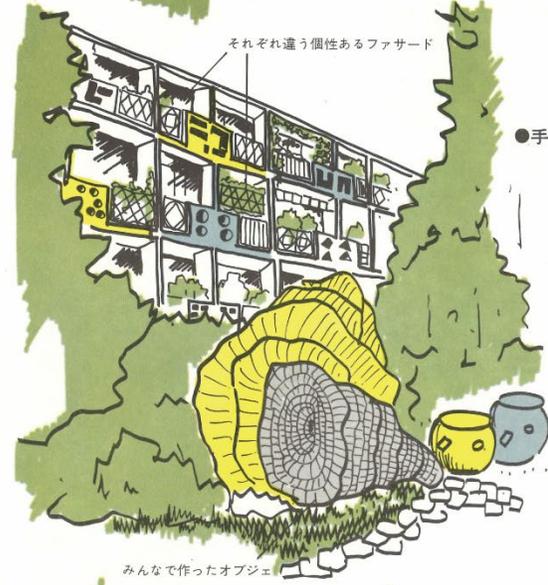
道路を解放しよう

車止め（吸がら入れ）

こどものためのがらくた広場を



自動販売機などのコーナーを



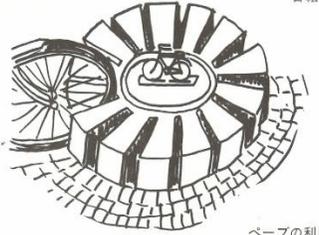
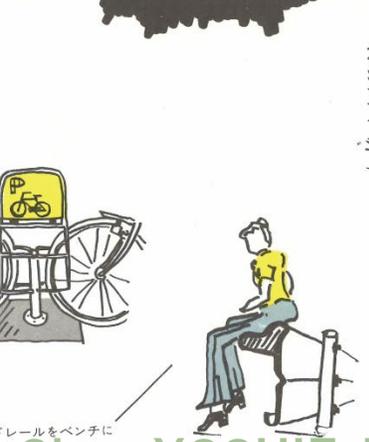
それぞれ違う個性あるファサード

みんなで作ったオブジェ



●手づくりのまち

壁に花を飾ろう



ペープの利用



自転車置場



木かげの休憩所

場所により変化するペイパメント

つるをからませて日影をつくる



町内掲示板

大谷石を彫って並べる

いくつかの示唆①

- 単なる「歩きやすさの向上」 + 「にぎわいを生む社会実験」を超えて...
- 所有・管理別ではなく、都市生活者が知覚・利用する「公共的領域」の全体を対象化し、デザインする枠組みの必要性 →パブリックレルム
- 公開空地ではない共用空間や半屋外空間の整備に対するインセンティブも場合（地区単位など）によって必要
- オープンスペースの確保は、まずは重要だが、それが「パブリック」なものになるのは人が「誰」として関係をもつからである
 - みんなの空間だから「私が自由に使ってはいけない」のか、みんなの空間だから「私の空間でもある」のか？
弾力的な利用はいかに可能か →コモンの探索的活用
 - パブリックスペースがサービスとして供給されるのではなく、利用者が積極的に使いこなすことを可能とする仕組みも必要

いくつかの示唆②

- 戦後のパブリックスペース論は、専ら物理的空間の操作で、街路パターンによって「広場化」が生じるよう狙った（現在は遺産となっている）
- 他方、現代においては、すでにある街路パターンやグリーン／ブルーインフラを市民生活の象徴として読み替える編集的態度の重要性が増している（「緑の手」のように）
- そもそも地域の固有性に合ったパブリックスペース・パブリックライフのありかたがある
 - Park-PFIなども手法がコモディティ化しているが、そもそもの公園や周囲の位置づけが重要。広島市民球場跡地のひろしまゲートパークなどはひとときわ目を引く事例
- 都市スケールから人間存在までを横断する魚眼図的把握。都市構造・交通から、ブロックスケール・風景、人が触れる都市のテクスチャまでの視点

国土交通省都市交通検討会 拠点エリアWG

ウォークアブルと パブリックライフを 再考する

吉江俊
東京大学
大学院都市工学研究科

